

# 呑川本流緑道桜再生実行計画 第三回検討会ニュースレター

目黒区内の公園・緑道・道路緑地等には約 2,300 本の桜がありますが、老齢化などにより、保全・更新の取り組みが必要となっていることから、目黒区では平成 27 年度から目黒の桜保全事業を行っています。

ご参加いただきありがとうございました。

今年度は呑川本流緑道の桜再生実行計画検討会を 3 回開催し、多くの貴重なご意見をいただきました。多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。

## 検討会の内容

- 第一回 9月11日 桜並木の現状とこれからについて
- 第二回 11月2日 桜景観の将来像について
- 第三回 12月18日 桜景観の将来像と実現に向けた取り組み

## 目黒の桜保全事業の流れ

### 樹木診断

樹木医による樹木診断を行い、現状の桜をとりまく問題点等を確認します。

### 再生計画作成

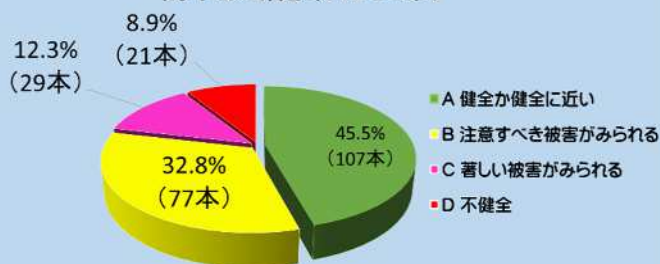
【今回検討会】桜並木の将来像を検討、将来像実現に向けた今後の取り組み方を考えます。

### 保全・更新

危険木の更新(伐採・植替え)を行いながら、再生計画を基に保全を行います。

## 桜並木の現状と課題

### 樹木診断結果(234本)

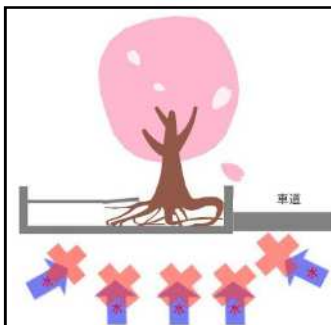


樹勢が弱り樹形が崩れた桜



樹木を腐らせるきのこの発生

- ・樹勢が低下しており、何らかの措置が必要な桜は 50 本ある (21.2%)
- ・中根小学校～第十一中学校の区間の桜の生育が特に悪い。
- ・植栽基盤の不足(土壌が少なく乾燥しやすい)
- ・桜の老齢化
- ・腐朽菌による材の腐朽・空洞の発生
- ・危険木の植え替えが必要



呑川本流緑道は呑川にコンクリートの蓋をし、その上に盛土をして造られた人工地盤(ビルの屋上緑化と同じ地盤で、大きな植木鉢のような構造)です。このため、土壌が固まり易く、乾燥し易い土壌となっています。また根の生育範囲も狭い状況といえます。

## 桜並木の再生方針

- ・現在のソメイヨシノをできる限り保全する。
- ・倒木の危険が生じた桜は、安全確保のため伐採・抜根を行う。
- ・新植を行う場合は、桜並木の現状と課題を踏まえ、新たに植栽する桜の長寿命化を念頭に、呑川本流緑道の環境に適した品種・間隔で植替える。

検討内容は裏面へ

## 《目黒の桜基金》

ふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝える目黒の桜基金にご協力をお願いいたします。桜基金は、ふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝えるための基金です。公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは目黒区ホームページや、ふるさとチョイスホームページをご覧ください。みどり公園課までお問合せください。(目黒区 HP) <http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/zaisei/kifu/kikin/sakurakikin.html>



(ふるさとチョイス HP)

## サクラ再生計画の検討



中根小～第十一中付近エリア  
【土壤基盤が狭いためより小型の品種で再生】



小型の品種：コヒガン  
ほかのエリアと花時期をある程度合わせ(3月中旬～3月下旬)、かつ小型(標準的樹高3m～5m)の品種

世田谷区境エリア **案その1**  
【土壤基盤が比較的広いため多様な品種で再生】



コシノヒガン、コヒガン、マメザクラ、オカメなどの混植(花時期を合わせ、花色の異なる桜で構成)

世田谷区境エリア **案その2**  
ほかのエリアとの連続性を重視し、中央エリアと同様コシノヒガンのみで再生

中央エリア

【華やかさを保ちつつ小型化する品種により再生】



中央エリア全てをコシノヒガンにより再生  
花の色がソメイヨシノに似た淡紅色の一重咲、ソメイヨシノの6～7割程度の大きさで、やや早く開花

### 再生へ向けて必要となる対応策

#### 土壤基盤の対策

- ・ 植栽樹を樹冠投影範囲内でできる限り広げる。
- ・ 植栽樹内の土壌を改良する。土壌をほぐし、保水性改良材を混合する。施肥をする。

#### 保全管理対策

日常的な維持管理やサクラ基金による更新・保全に加え、住民の方々と協働で「桜守活動」を行い、サクラ再生実行計画に取り組む。

#### ○桜守活動

桜守活動とは、地域の方で地域の桜を守るボランティア活動のことで、全国各地で行われています。桜並木を保全していくためには、区民の皆様の参加が大きな力になると考えています。呑川本流緑道の桜を将来に伝えていくため、目黒区でも今後、桜守を募集し、清掃活動や桜の継続的な観察、保全活動などを行っていきたく考えています。

### 検討会での主なご意見

- ・ 20年先を考えると環境も変わる。桜にこだわらず色々な木を植えて春、夏、秋と色々な花が咲くのも一つの景観ではないかと思う。
- ・ 緑道沿いに住んでおり、落ち葉などの掃除をしているので、そのようなことも考慮してもらいたい。
- ・ 桜守について協力していきたいと思うが、意見交換しながらやりたい。
- ・ 中根住区あたりが一番ひどい状況なのでできるだけ早く植え替えてほしい。
- ・ 計画作成後も途中で状況も変わる可能性があるため、なるべく柔軟に対応してもらいたい。

樹木診断の結果や検討会でのご意見をもとに、平成31年3月頃までに呑川本流緑道サクラ再生計画を作成します。平成31年3月に「平成30年度サクラ保全事業報告会」を開催する予定です。ぜひご参加ください。

○問合せ先 目黒区 みどりと公園課 03-5722-9745